

付編 3

南海トラフ沿いで異常な現象が観測
された場合の当面の対応について

第1章 対応方針.....	- 290 -
第1節 「南海トラフ地震に関連する情報」の発表.....	- 290 -
第2節 「南海トラフ地震に関連する情報」発表の措置.....	- 291 -
1 「南海トラフ地震に関連する情報」等の伝達.....	- 291 -
2 警戒体制の準備.....	- 292 -
3 警戒体制の確立.....	- 292 -

第1章 対応方針

中央防災会議防災対策実行会議「南海トラフ沿いの地震観測・評価に基づく防災対応検討ワーキンググループ」の報告（平成29年9月）を踏まえ、政府として、南海トラフ沿いで異常な現象が観測された場合に実施する新たな防災対応を定める予定となった。

新たな防災対応が定められる当面の間、気象庁は「南海トラフ地震に関する情報」を公表することとし、当該情報が発表された場合の政府の対応が示された。

この対応を受けた大阪府の対応により、四條畷市の組織体制や情報伝達体制等の対応については、以下によるものとする。

第1節 「南海トラフ地震に関する情報」の発表

新たな防災対応が定められるまでの当面の間、気象庁は「南海トラフ地震に関する情報」を公表する。（気象庁が発表する当該情報は以下のとおりで、平成29年11月1日から運用開始。）

「南海トラフ地震に関する情報」について

気象庁は、以下の場合、「南海トラフ地震に関する情報」を公表する。このため、南海トラフ全域を対象として地震発生の可能性を評価するにあたって、有識者から助言いただくために、「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」を開催する。

情報名	情報発表条件
南海トラフ地震に関する情報（臨時）	○南海トラフ沿いで異常な現象（※1）が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合 ○観測された現象を調査した結果、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時と比べて相対的に高まったと評価された場合 ○南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が相対的に高まった状態ではなくなったと評価された場合
南海トラフ地震に関する情報（定例）	○「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討委員会」の定例会合において評価した調査結果を発表する場合

※1：南海トラフ沿いでマグニチュード7以上の地震が発生した場合や東海地域に設置されたひずみ計に有意な変化を観測した場合などを想定。なお、本情報の運用開始に伴い、東海地震のみに着目した情報（東海地震に関する情報）の発表は行わない。

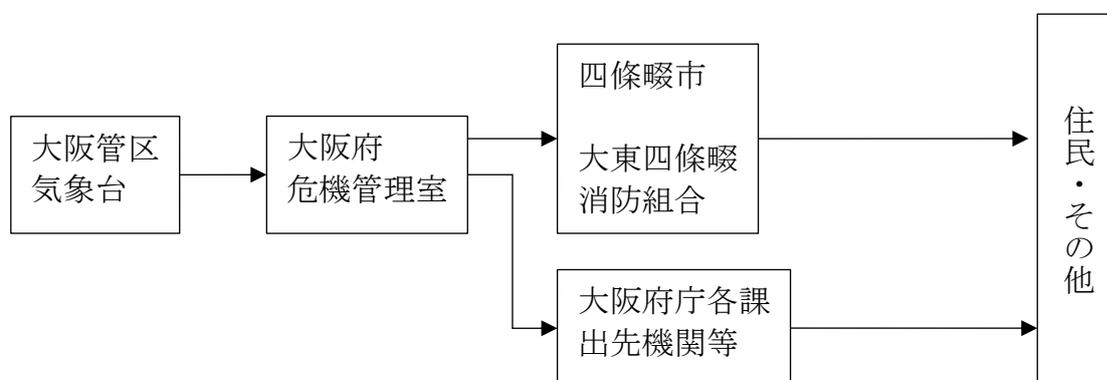
第2節 「南海トラフ地震に関連する情報」発表の措置

市は、「南海トラフ地震に関連する情報」が発表された際の情報収集・連絡体制の整備や、住民への広報、所管する防災上重要な施設等がある場合には必要に応じ、これらの点検、大規模地震発生後の災害応急対応の確認など、地震への備えを徹底するものとする。

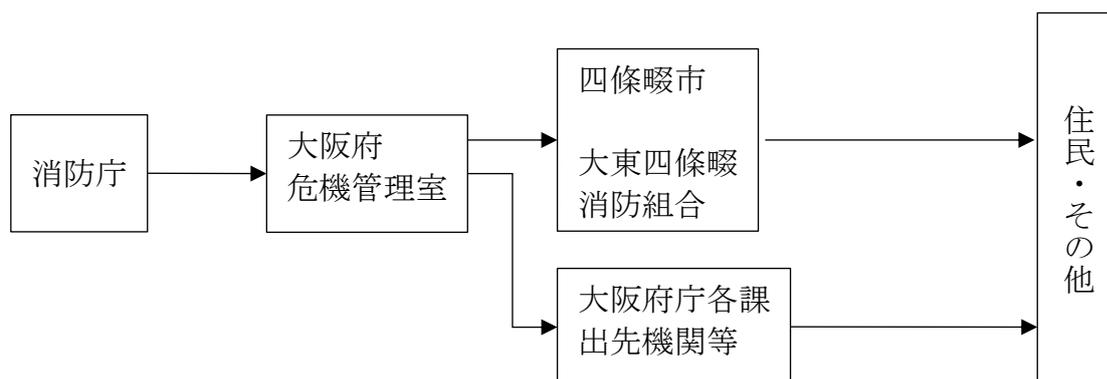
1 「南海トラフ地震に関連する情報」等の伝達

(1) 伝達情報及び系統

①南海トラフ地震に関連する情報（臨時・定期）



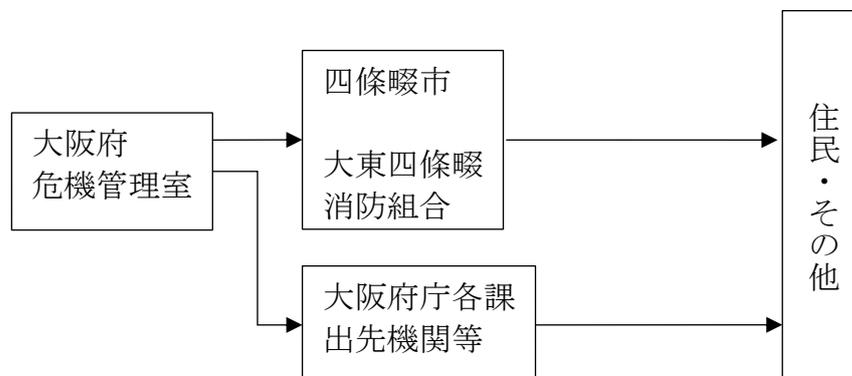
②関係省庁災害警戒会議の情報



※関係省庁災害警戒会議：関係省庁の職員が参集し、関係省庁による今後の取組確認及び内閣府による国民への呼びかけを実施

③大阪府防災・危機管理司令部会議の情報

※南海トラフ地震臨時情報（巨大地震発生）が発表されたとき等



(2) 伝達事項

①南海トラフ地震に関連する情報（臨時・定例）

第1章第1節による気象庁が発表する情報

②関係省庁災害警戒会議の情報

関係省庁災害警戒会議の開催結果の情報

③大阪府防災・危機管理司令部会議の情報

大阪府が南海トラフ沿いの大規模な地震発生に備え、今後の対応を検討した情報

2 警戒体制の準備

市は、南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始、又は調査を継続している旨の「南海トラフ地震に関連する情報」（臨時）が発表された場合、その後の調査の結果に伴う「南海トラフ地震に関連する情報」（臨時）の発表に備えて、必要な体制等の準備を行い、国や大阪府からの情報収集結果、国際機関等への情報伝達、留意事項の周知を行う。

3 警戒体制の確立

市は、南海トラフ沿いの大規模な地震発生の可能性が平常時に比べて相対的に高まった旨の「南海トラフ地震に関連する情報」（臨時）の発表があった場合、可能性がなくなった旨の「南海トラフ地震に関連する情報」（臨時）が発せられるまでの間、警戒活動を行うための風水害等応急対策、復旧対策に準じた災害対策準備室を設置する。

市は、災害対策準備室による会議を開催し、国や大阪府の情報を受けて、今後の

対応を検討するとともに、大規模地震発生後の災害応急対応の確認、防災上重要な施設及び必要な資機材等の準備、点検を行い、地震への備えを徹底する。

市及び大阪府は、地震への備えについて、住民等に対して再確認を目的とした呼びかけや混乱防止のための広報を行う。